

No.1.V-shaped Gorge in Japan



黒部峡谷トロッキ電車

# 黒部峡谷鉄道の冬季営業 P J



平成29年7月28日



黒部峡谷鉄道(株)



# 黒部峡谷鉄道の冬季営業 P J

## 1. 検討項目と課題

項目		内容	検討課題
安全対策	1. 落雪・雪崩対策	・雪崩防止スノーシェットの設置 他	・景観に配慮した構造の検討 ・費用の算出
	2. 車両・施設の改修	・車両・施設の改修箇所の検討 ・レール分岐器へのヒーター設置 他	・車両の耐雪ブレーキ他必要設備の検討 ・費用の算出
	3. 除雪	・線路・駅ホーム ・駐車場	・費用の算出
	4. 運行期間・ダイヤ・列車編成の検討	・運休区間の撤去作業との調整 ・運行ダイヤに見合う要員 ・冬季車両整備への影響含	・運行要員と冬季車両整備要員の検討 ・外注費用の算出 ・冬季車両整備中の列車検査場所の検討
	5. 運行基準の策定	・降雪・積雪量、風速等	・データの収集、検証
魅力ある滞在プログラム	6. 到着駅での過ごし方検討等	・宇奈月温泉との連携、駅での過ごし方検討	・駅の安全対策、トイレ設置 ・宇奈月温泉との連携
採算性	7. 採算性の検討	・乗客数の推定	

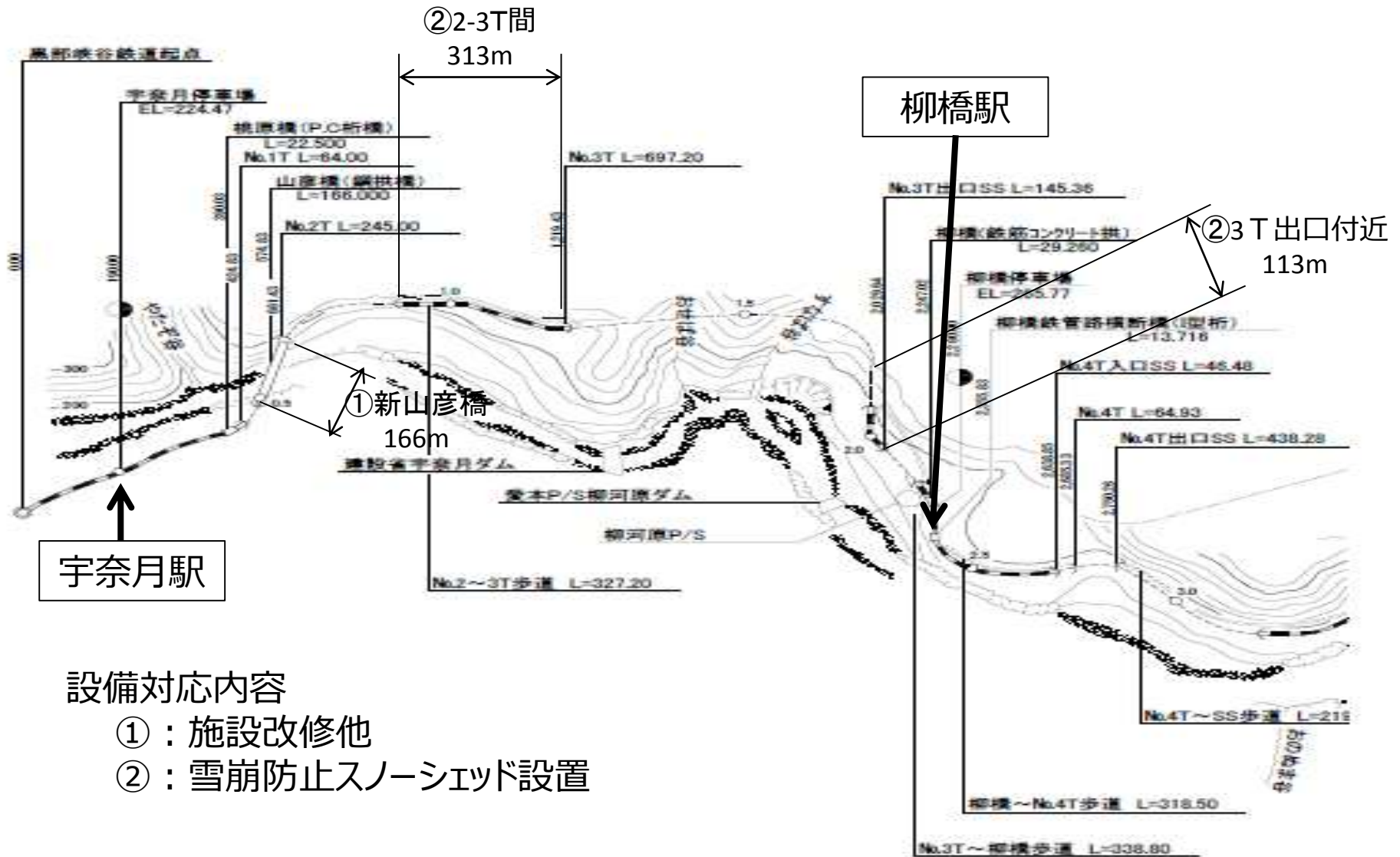
## 2. スケジュール

年度 項目	H29	H30	H31	H32	H33	H34以降
調査・検討	→					
関係箇所との調整検証			→			

# 黒部峡谷鉄道の冬季営業 P J

## 3. 運行区間および設備対応必要箇所への検討

### 線路平面図 宇奈月～柳橋間 (2.1km)



#### 設備対応内容

- ① : 施設改修他
- ② : 雪崩防止スノーシート設置



## 4. 設備の概要（柳橋駅・新山彦橋・スノーシェッド他）

### 柳橋駅遠景



## 柳橋駅構内状況

営業運転中



積雪状況



## 柳橋駅構内状況

上流側から宇奈月駅側を見る  
(除雪要)



ポイント (融雪ヒーター設置要)





## 新山彦橋(非常時の避難通路確保検討)



2 - 3 T間 (スノーシート設置313m)





## 2 - 3 T 間積雪状況



2 - 3 T 間雪崩発生状況 (H24.3.30)





### 3 T 出口付近 (スノーシェッド設置113m)



既設スノーシエツド

外 観



車窓からの景観





## 冬季の運行要員と車両整備要員との調整要



通常、黒部峡谷鉄道の営業は11月30日で終了し、その後、次年度の営業運転に向け、機関車・客車の整備作業を行なう。

車両区員・乗務員・駅員を含め、総勢、約90名の作業員が機関車班・客車班に分かれ、分解整備・清掃作業を行なっている。

